

山の日の記念行事として、オオシラビソ林の再生に向けた 稚樹の試験移植を行いました

林野庁東北森林管理局山形森林管理署では、2013年秋頃から蔵王山頂付近のオオシラビソ（別名アオモリトドマツ）が蛾（トウヒツヅリヒメハマキ）の幼虫とトドマツノキクイムシの食害により枯損したことを受け、令和元年度から試験的な取組の一環として行っている、現地で採取したオオシラビソの稚樹の試験移植について、「第6回『山の日』全国大会やまがた2022」の開催に併せ、下記のとおり行いましたのでお知らせします。

記

- 1 日時 令和4年8月10日（水） 12:00～12:40
- 2 場所 蔵王ロープウェイ地蔵山頂駅横
- 3 内容 標高1300m付近から採取したオオシラビソの自生稚樹大小12本を、地元の山形市立蔵王第三小学校・第二中学校の児童・生徒（当日は小学生6名、中学生4名が参加）が当署職員の指導を受けつつ移植を行いました。
当日、現地にて配布した参考資料は別添のとおりです。



4 問い合わせ先



林野庁 東北森林管理局 山形森林管理署
地域林政調整官 五十嵐
〒991-0053
山形県寒河江市元町一丁目17-2
TEL 0237-86-3161（代表）

